

広報

しょうぼう さつま

119

vol.9

平成21年6月発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366

Tel 0996-52-0119

Fax 0996-53-0119

Web <http://www.satsuma-net.jp>

mail [shobo@satsuma-net.jp](mailto:shobo@satsuma-net.jp)



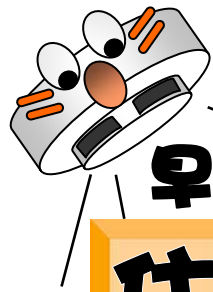
僕はちびっ子消防士!  
(消防フェスタ会場にて)

主な内容

- 1 ページ……住宅用火災警報器の設置推進
- 2 ページ……火災・救急統計, 職員人事
- 3 ページ……さつま町消防団の新体制がスタート
- 4 ページ……わがまちの消防団(紫尾・柏原分団)  
消防災害支援隊の結成状況
- 5 ページ……宝くじ助成で視聴覚資器材を購入  
消防ほつと写真館

平成21年度全国統一防火標語

消えるまで  
ゆっくり火の元  
にらめっ子



早めに設置しましょう！

# 住宅用火災警報器



- ★新築住宅は建築時に
- ★すでにお住まいの住宅は平成23年5月31日までに



## 住宅用火災警報器は逃げ遅れを防ぎます

住宅火災による死者の約 7 割は、「逃げ遅れ」により発生しています。また逃げ遅れは眠っている間に発生しやすく、これらの死者を軽減するために住宅用火災警報器の寝室への設置が法律で義務付けられました。（※寝室が 2 階以上にもある場合は、階段にも設置が必要です。）

なぜ普段火を使う台所じゃないの？と疑問に思われるかもしれませんが、火災警報器が寝室への設置となったのは以上のような理由からです。



## 共同購入をお勧めします

購入に際しては、公民会あるいは校区単位などで共同購入することをお勧めします。ある程度まとまった個数になると割引などコスト面でのメリットが考えられます。また、地域ぐるみで購入することによって防災意識の啓発にもつながり、さらには購入方法がわからない高齢者家庭への設置も可能となるなど地域を上げて災害時要援護者への対応を図ることもできます。

## 校区別の設置率

校区別	世帯数	交付数	設置率
宮之城屋地	1,861	195	10.5%
虎居	1,426	199	14.0%
船木	521	66	12.7%
時吉	167	95	56.9%
佐志	694	65	9.4%
湯田	513	71	13.8%
柵野	113	22	19.5%
平川	353	9	2.5%
泊野	143	94	65.7%
白男川	195	32	16.4%
山崎	360	56	15.6%
二渡	369	1	0.3%
久富木	302	12	4.0%
鶴田	444	62	14.0%
神子	481	49	10.2%
柏原	610	384	63.0%
紫尾	270	221	81.9%
求名	737	494	67.0%
中津川	459	155	33.8%
永野	518	175	33.8%
合計	10,536	2,457	23.3%

※平成 21 年 4 月 1 日現在

# お知らせ

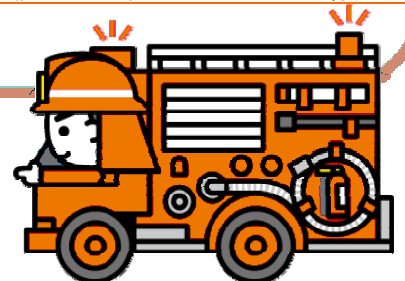
## 設置推進地区別担当制を導入します

現在のさつま町の住宅用火災警報器の設置率は左の表のとおりで、未だ 3 割にも満たない状況です。

そこで、消防職員による地区別担当制を導入し、これまで以上に積極的に推進を図ることにしました。

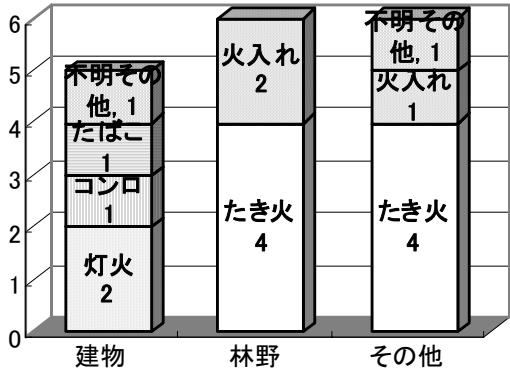
担当となった地区の公民館（会）長や地元消防団を職員が訪問し、十分連携を図りながら設置推進を図ってまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（※左表の設置率は、申請により住宅用火災警報器設置済ステッカーを交付した数ですので、実際の数値よりも低くなっている場合があります。ご了承ください。）



# 消防統計 2008

火災種別ごとの出火原因

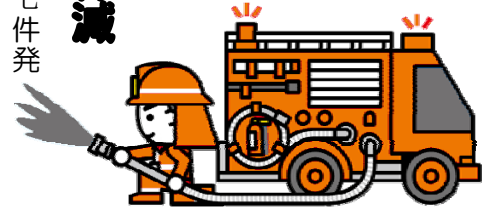


火災種別でみると、依然として林野や枯草などの火災が約六十五%を占めています。原因別に見ると、たき火や火入れによる火災が全体の約六十五%にのぼっています。また、火災による死者は二人、負傷者は一人発生しました。死者の二人はいずれも高齢者が犠牲となっています。

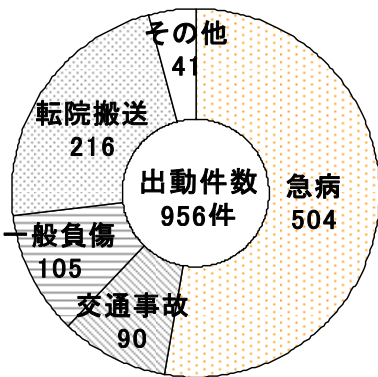
**前年比一件減**

火災件数は十七件発生し、前年に比べて一件減少しました。

**火災 17件**



事故種別の出動件数



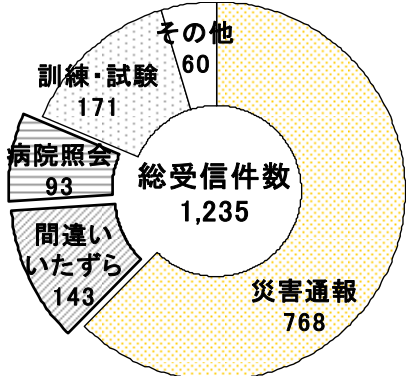
救急件数は九百五十六件で、一日平均二・六件出場していることとなります。種別で見ると、例年と同じく急病が最も多く約五十三%を占め、次いで転院搬送、一般負傷、交通事故と続きます。搬送人員は九百三十六人で、傷病程度別にみると、死亡二十四人、重症二百十五人、中等症四百三十八人、軽症二百五十八人、その他一人となっており、入院の必要のない軽症者が約二十八%となっています。

**急病人が半数以上**

**救急 956件**



119番着信状況



昨年通信指令室で受信した119番の総件数は千二百三十五件で、前年より四十件増加しています。その中で、「間違い電話」や「病院の照会」など災害通報と関係のない119番が二百三十六件もあり、全体の約二割を占めています。災害発生時の緊急通報の妨げにならないため、病院の照会など災害以外の電話は一般電話へお掛けください。

**二割は緊急通報以外**

**通信 1,235件**



**新入職員紹介**

4月1日付で新たに1名の職員を採用いたしました。



プロフィール

★上之原 弘一(20)

★宮之城屋地出身

★抱負

「町民の皆さんの安全と安心のため、精一杯頑張っていきたいと思っています。これからよろしくお願いします。」

**職員異動**

- ▼消防課長兼消防団係長 王子野建男(消防課長補佐兼消防団係長)
- ▼消防課長補佐兼警防係長兼消防署長 代理 市野恵一(消防課長補佐兼予防係長)
- ▼予防係長 若松良尚(通信指令係長)
- ▼総務係長 米丸鉄男(薩摩総合支所総務管理課 税務係長)
- ▼通信指令係長 井上斉(警防係参事補兼第2小隊長代理)



# さつま町消防団の新体制がスタート



消防団長  
萩木場 光三 (72)



副団長  
末吉 義人 (61)

消防団長・副団長の任期満了に伴う退団により、さつま町消防団幹部が新たに任命され、4月1日から新体制がスタートしました。新団長に前副団長の萩木場光三氏、副団長に前西部方面隊長の末吉義人氏が任命されました。また、分団長にも多数の昇任がありましたので、方面隊ごとにご紹介いたします。

この新体制で、さつま町の防災活動を担ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 方面隊長



宮之城東部方面隊長  
西田 強



宮之城西部方面隊長  
長福 次美



鶴田方面隊長  
正岡 貞光



薩摩方面隊長  
宮脇 純治

## 宮之城東部方面隊



中央分団長  
内山 政文



虎居分団長  
井手原 清美



川原分団長  
竹添 正光



時吉分団長  
下市 博彰



佐志分団長  
小川内 繁



湯田分団長  
小緑 繁



袴野分団長  
前野 浩司



船木分団長  
紺屋園 道

## 宮之城西部方面隊



山崎分団長  
稲留 末博



二渡分団長  
祝迫 清



久富木分団長  
三浦 優



平川分団長  
北原 雅士



一ツ木分団長  
井上 清海



白男川分団長  
宮脇 俊郎



泊野分団長  
楠八重 盛光

## 鶴田方面隊



鶴田分団長  
萩木場 暎生



神子分団長  
丸尾 省吾



柏原分団長  
上川畑 繁



紫尾分団長  
上之原 久男

## 薩摩方面隊



永野分団長  
城戸 伸二



求名分団長  
下大迫 六十四



南求名分団長  
原田 則光



中津川分団長  
江藤 繁隆

# シリーズ わがまちの消防団

## 紫尾分団

※平成 21 年 4 月 1 日現在

分団長 上之原 久男

副分団長 神野 眞 以下 21 名

管轄～紫尾区全域 (324 世帯 737 名)

紫尾分団は、地域の皆さんに信頼される消防団員であるよう日夜頑張っております。

紫尾には、紫尾神社や日枝神社などの大変貴重な文化財があります。これらを守るために年 1 回の防火訓練を行い、有事の際に備えております。

また、紫尾温泉祭などでは交通整理にあたるなど地域行事にも積極的に参加して地域に根ざした活動を行っております。今後も一致団結して頑張りたいと思っております。



## 柏原分団

※平成 21 年 4 月 1 日現在

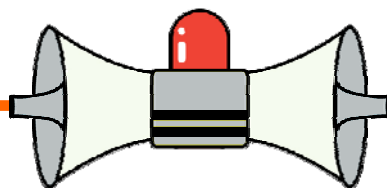
分団長 上川畑 繁

副分団長 瀬戸口 和徳 以下 21 名

管轄～柏原区全域 (606 世帯 1,548 名)

柏原分団は、消防本部と連携して火災をはじめとする各種災害から地域住民を守るため活動しています。また、柏原分団には救助ボートが配備されており、川内川での水難事故に対応できるよう訓練しています。そのほか、5～6 月にはホテル舟のパトロール、8 月には龍舟祭の審判など地域行事にも積極的に参加しています。

これからも地域の「防災の要」として努力して参りますので、皆様のご理解、ご協力をお願いします。



## ▲ ▼ 消防災害支援隊も続々結成中 ▲ ▼

### 消防災害支援隊結成状況

番号	隊名	隊員数
1	永野分団消防災害支援隊	22
2	船木分団消防災害支援隊	5
3	中央分団消防災害支援隊	6
4	紫尾分団消防災害支援隊	9
5	一ツ木分団消防災害支援隊	13
6	久富木分団消防災害支援隊	23
7	佐志分団消防災害支援隊	11
8	山崎分団消防災害支援隊	10
9	平川分団消防災害支援隊	16
10	神子分団消防災害支援隊	17
11	二渡分団消防災害支援隊	12
12	白男川分団消防災害支援隊	14

消防災害支援隊とは、消防団 OB によって組織されるボランティア組織で、災害時に消防団の活動を支援します。

さつま町でも消防団員のサラリーマン化が進んでおり、いざ災害というときに地元団員がおらず、活動に支障を

きたす場面も予想されています。災害支援隊はこのような場面などで、過去の経験を生かして初動活動を実施し、被害を最小限に食い止めるためにご活躍いただくものです。これからも結成の推進に努めて参ります。



二渡分団消防災害支援隊結成式



# 宝くじの助成金により視聴覚資器材を購入

日本防火協会の「平成20年度民間防火組織等の防火・防災普及啓発推進助成事業」(宝くじの助成金による事業)により助成を受け、視聴覚資器材(プロジェクター・ワイヤレスアンプ・ビデオカメラ・一眼レフデジタルカメラ等、総額660,600円)を購入しました。

この助成事業は、民間防火組織等の育成強化を図ることを目的としており、今後幼年消防クラブや婦人防火クラブ等に対する講習会や各種イベント等に活用し、防火思想の普及に役立てていきます。



## 消防ほっと写真館



2008.07.09

自分の腕力だけで必死にロープを登ります!

【山崎中学校職場体験】



2008.10.09

温水プールで潜水訓練(シュノーケリング)体験中!

【薩摩中学校職場体験】



2008.11.06

元気いっぱいお遊戯を披露して防火を訴えました。

【つるだ同朋保育園幼年消防クラブ】



2008.11.13

空気呼吸器を装着し、本番さながらに訓練を行いました。

【IGR京セラ総合防災訓練】



2008.11.21

勤労感謝の日を前に、プレゼントを持ってきてくれました!

【聖母幼稚園のみなさん】



2008.11.21

勤労感謝の日のプレゼントを持って、「みんなで敬礼!」

【信教寺保育園のみなさん】



2009.01.06

「敬礼!」出初式で、元気いっぱいに行進できました!

【恵光保育園幼年消防クラブ】



2009.01.27

放水開始! 筒先を持つ姿がカッコいいですね(^^)

【鶴田中学校職場体験】



2009.02.21

防火を願う作品ばかりでした。受賞おめでとうございます!

【防火ポスター表彰式】